

私は、かん国へ行く前、かん国の人と会話をしたり、楽しむことができるのか、とても不安でした。いざかん国へ行くと、意外と会話ができたので、これならかん国の子どもたちと仲よくてきると思い、私はかん国の子どもたちと一緒に、たくさんしゃべりかけてみました。すると、返事が日本語で返ってきたり、ごく私の話をしんげんに聞こうとしてくれたので、うれしくて感動しました。かん国の子どもたちとたくさん会話をしているうちに、いつの間にか、シエスチャで話合うようになっていました。こんなにかん国の子と日本の子ともが仲よくできるなんて、想像もできないことでした。かん国語を使わなくても友達になれるのは、とてもうれしい事でした。こんなに世界で、すてきな人々と思えました。私は今六年生なので、次の交流に参加できないのは残念だけど、これから日本とかん国との交流がとも長く続いていってほしいな、と思います。